

## ＜心を見守る＞

箴言4：20～23

「道程」 高村光太郎

僕の前に道はない 僕の後ろに道は出来る  
ああ、自然よ 父よ 僕を一人立ちにさせた広大な父よ  
僕から目を離さないで守る事をせよ  
常に父の気魄を僕に充たせよ この遠い道程のため  
この遠い道程のため



- ◆聖書は、大自然をも造られた天地創造の父なる神のみことばを守り行うことによって、自分の道を確認なものに、保つことができると教えている。

わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。力の限り、見張って、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれからわく。 箴言4：20～23

心がどこを向いているのかを吟味して、心を守るように。

### 1、神のことばから目を離さない

自分の内で「習慣化している思考」が邪魔をして、神のことばが見いだせない！

心を見張る……習慣化されている心の動き、思考をセルフチェックする視点

ヘブル語の「心」は頭で考える「知性的、理性的、論理的」のニュアンスが強い。  
感情的。情緒的ではない？！

「考えが言葉になり、言葉は行動になり、行動は習慣に、  
習慣が人格になり、人格は運命を形作る。」

- ◆イエス・キリストによって新しくされた人が、新しい考えを持ち、神の御性質に従って行動するのか、罪のある人間の本性にしたがって行動するのかを選択することは、各自の責任。それによってそれぞれの人生の実を結ぶ。

## 2、心が無防備になっていないかチェックする

無防備・・・外敵の侵入や、危機災害などの備えがないこと。

どのようにして若い人は自分の道をきよく保てるでしょうか。あなたのことばに従ってそれを守ることです。私は心を尽くしてあなたを尋ね求めています。どうか私が、あなたの仰せから迷い出ないようにしてください。 詩篇 119：9、10

心が無防備・・・敵が攻撃して来ているのに、見張り人が居眠りをしている。

気が付いたら、自分の持っている良いものをすっかり奪われてしまう。

洪水のように自分の内に入り込む情報。どうやって治める？

◆様々な事情に振り回されて、心が過敏に反応してしまう現実がある。

しかし、「神さまの情報」には無関心で、無反応ということはないだろうか。

自分の心が「何に対して反応しているのか」心を見張る。

悪い事なら、自分のうちに入りこまないように。阻止する。

思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。 ペリピ 4：6、7

## 3、キリストのことばを自分の内に豊かに住まわす

キリストのことばをあなたがたのうちに豊かに住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。 コロサイ 3：16

神のことばは、私たちを建て上げ、幸せにし、豊かにするための言葉で溢れている。

信仰の戦いの戦場。それは私たちの心！